

2021年1月31日

各位

会社名 一般社団法人 DSTO
代表理事 東門 篤

「PocketSwap(ポケットスワップ)」の 開発に関するお知らせ

2020年夏からバブルになっていたDeFi(分散型金融)市場は、ビットコイン(BTC)をはじめとする仮想通貨が大きく価格を高騰させた2021年も引き続き、大きな盛り上がりを見せています。

ビットコインやその裏付けとなるブロックチェーン技術が、分散性という特徴を持ち合わせるため、分散型という概念は、仮想通貨市場にとって非常に重要な役割を持ち、今後の市場の成長に多くの投資家が注目しています。また、DeFi(分散型金融)市場では現在、「分散型取引所(DEX)」と呼ばれる第三者を介さない非中央集権の仮想通貨取引所の人気急上昇し、DEX関連サービスが人気を集めています。

新プロジェクト「Pocket Swap(ポケットスワップ)」が誕生

そんなDeFi市場において、特定のトークンを1:1でDEXに預けることで報酬を獲得できる流動性マイニングを備えた新しいDEX「Pocket Swap(ポケットスワップ)」が誕生しました！主なPocket Swapの特徴は、以下の3つがポイントです。

Pocket Swapの3つのポイント

1. プールに資金を預けることで、インカムゲインを獲得できる
2. 獲得できるトークンは、人気を集めるFilecoin(FIL)で貰える
3. いつでも参加可能&毎日報酬が貰える

Pocket Swap(ポケットスワップ)は、同 DEX 運営元が発行する独自通貨と、仮想通貨イーサリアムを 1:1 で「Pool(プール)」と呼ばれる特定の場所に流動性を提供することによって、インカムゲイン(配当報酬)を誰でも獲得することができるプロジェクトです。それではここから、分散型金融(DeFi)の特徴を踏まえた、DeFi 新プロジェクト「Pocket Swap(ポケットスワップ)」の詳細について、詳しく解説していきます！

ロードマップ(予定)

- **2021.2.1**
Pocket Swap(DEX)ベータ版開始
- **2021.3.1**
Pocket Swap(DEX)取引開始
ユーザー間取引開始
Pool ユーザーの FIL 報酬計算開始

「DeFi(分散型金融)」と「DEX(分散型取引所)」とは



まず初めに、新プロジェクト「Pocket Swap(ポケットスワップ)」を完璧に理解する上で重要になるのは、「DeFi(分散型金融)」と「DEX(分散型取引所)」の2つです。2020年、2021年の仮想通貨市場を席卷したDeFiとDEXを知っている方は多いと思いますが、この2つは非常重要的なポイントになるので、順番に解説していきます。

DeFi(分散型金融)とは

DeFi(分散型金融)とは、「Decentralized Finance(ディセントラライズド・ファイナンス)」の略称で、ブロックチェーン技術を基盤として構築された金融エコシステムを指します。

これだけでは理解しづらいと思いますが、高い改ざん耐性を持つブロックチェーン技術を活用して、取引などのデータやトランザクションを処理することで、そのデータ処理を分散化することができ、第三者の介入なしでトークン同士の取引や、それらに関連するサービスを利用することができます。

DEX(分散型取引所)とは

そしてDEX(分散型取引所)について。DEXは、DeFi市場における取引所の役割を果たします。コインチェックやバイナンスなどの特定のチームや企業や運営する「中央集権取引所」とは真逆の管理者や、企業などの中央管理者を介さず、ユーザー同士で直接仮想通貨を取引できる取引所を指します。

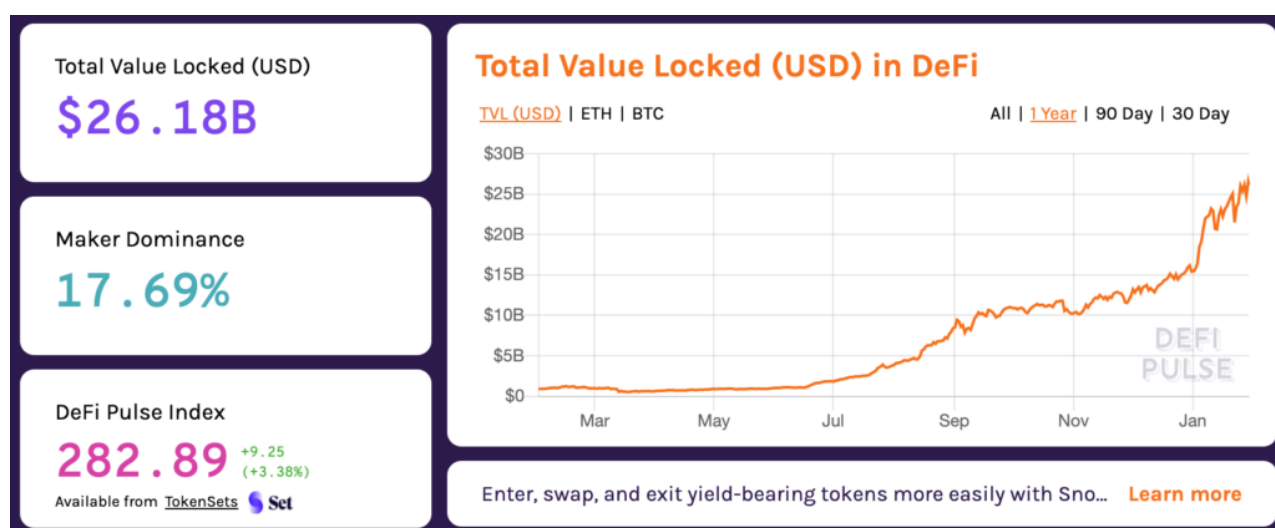
そのため、非中央集権取引所と呼ばれるDEXは、セキュリティが高く、本人確認(KYC)がなくても安い手数料で、24時間365日取引が可能という特徴を持っています。

2020/21年のDeFiブーム&DEXの高い人気性

DeFi(分散型金融)におけるDEX(分散型取引所)は、2020年夏からそのユーザー数が急激に増加し、仮想通貨市場の大きな立役者となりましたが、実は2017年頃からEtherDelta(イーサデルタ)というDEXが存在していました。しかし、そのプラットフォームの使い勝手が非常に悪く、EtherDeltaに続いてBancorや0x、Kyberswap

など、いくつかの DEX 登場しましたが、流動性の低さや手数料などの課題点が残っていたのです。

そんな中、2018 年 11 月に Uniswap V0(ユニスワップ)と呼ばれる新しい DEX が誕生。大手ベンチャーキャピタル(VC)の出資や、いくつかのバージョンアップによって、2020 年 5 月には Uniswap V2 がローンチされ、DEX を大きく飛躍させることになりました。

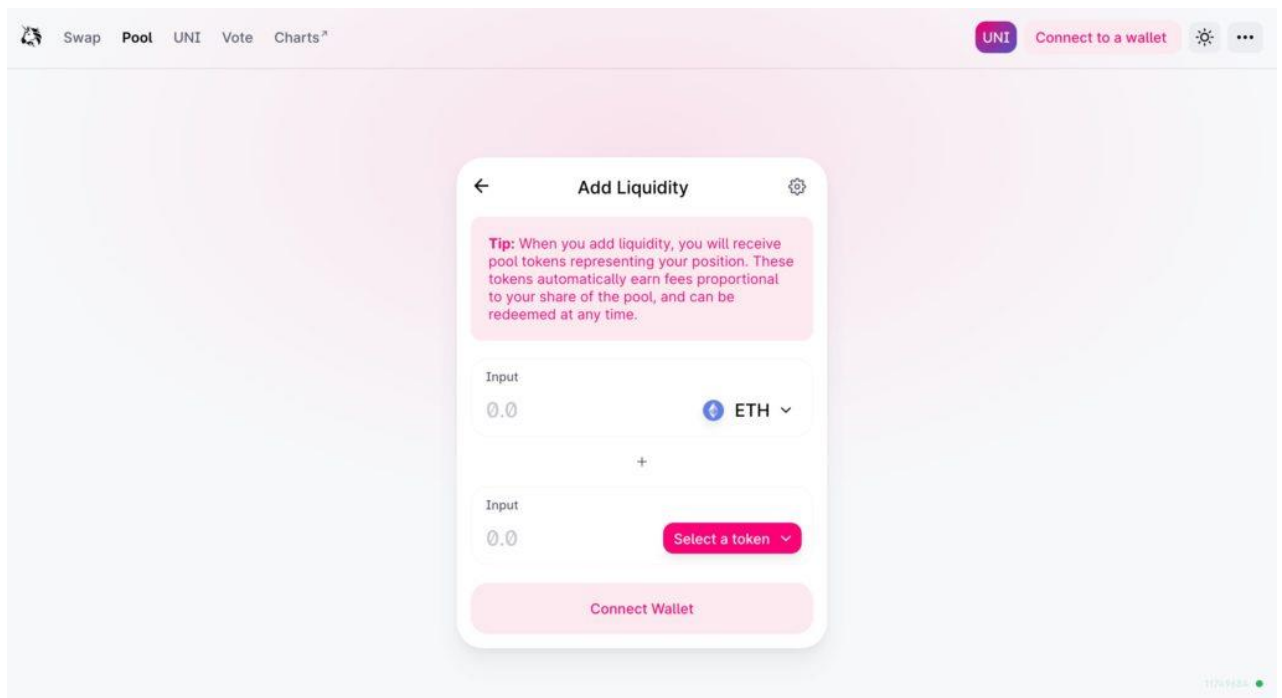


DeFi Pulse より画像引用

上記画像の DeFi 市場の成長を示す「TVL(Total Value Locked / 提供された流動性の総額)」は、2020 年夏から急激に上昇し、現時点(2021.1)の TVL は 260 億ドルまで増加しています。人気に火がついた 2020 年から現時点まで、そのブームが続いており、現在の仮想通貨市場でも DEX は、中心的な存在となっているのです。

Uniswap(ユニスワップ)を例題にした DEX の特徴

Uniswap(ユニスワップ)が誕生してからの DEX(分散型取引所)は、Pool(プール)と呼ばれる新機能が多く散見されます。プールを提供する代表格のユニスワップでは、以下画像の左上にある「Pool」を選択することで、「流動性マイニング」と呼ばれる仕組み(サービス)で報酬を獲得することが誰でもできます。



Uniswap より画像引用

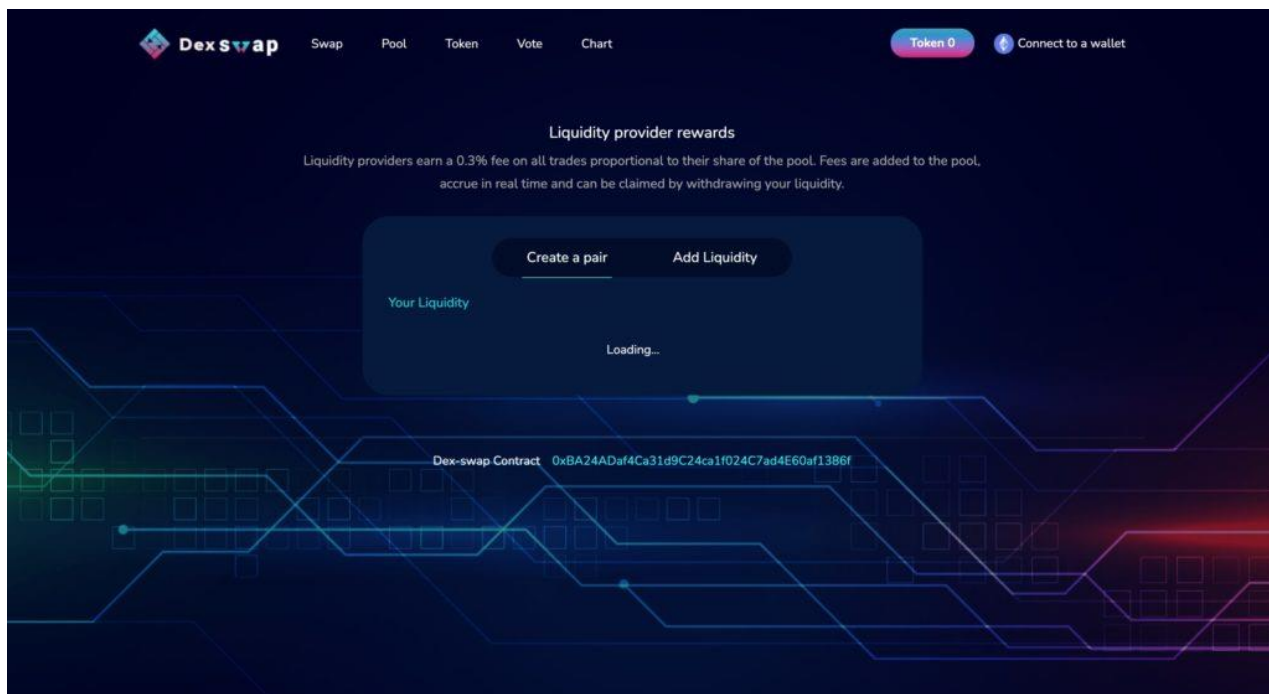
「流動性マイニング」とは、DEX(この場合はユニスワップ)に流動性を提供することによって、提供したトークンの枚数に応じやトークン (UNI) が貰える仕組みのことです。そのため、この「Pool」にトークンを「1:1 の割合」で預けるだけで、トークンが貰えます！この仕組みは、「ステーキング」と呼ばれるトークンを一定期間預ける(ロックあり)と非常に似ており、トークンを指定された月利もしくは年利が、預けたトークンにプラスして貰える仕組みに近いです。

そして「Pocket Swap (ポケットスワップ)」も、DeFi 市場で人気の Pool (プール) の仕組みを採用した DEX を提供することによって、誰でも簡単にトークン報酬をもらえる仕組みを構築しています！

流動性マイニングで FIL が貰える「PocketSwap (ポケットスワップ)」とは

ここまで DeFi と DEX に関する特徴を解説してきましたが、ここまで理解することができれば、「Pocket Swap (ポケットスワップ)」の仕組みも簡単に紐解くことができます。

まずは、以下画像の「Pocket Swap (ポケットスワップ)」のデモ版 UI を見てみましょう！



※ こちらの UI はデモ版となります。

こちらの Pocket Swap (ポケットスワップ) が提供する DEX は、シンプルなデザインのプラットフォームが多く、誰でもが見ただけで直感的に操作できることが重要視されます。Pocket Swap (ポケットスワップ) の左上の「Pool」を選択することで、流動性マイニングができる Pool (プール) へと移行します。

Pocket Swap (ポケットスワップ) の流動性マイニング

そして Pocket Swap (ポケットスワップ) の流動性マイニングでは、以下の 2 つのポイントが重要となります。

Pocket Swap の 2 つのポイント

1. 独自通貨「DSTO」とイーサリアム (ETH) を準備
2. 流動性マイニング報酬は、Filecoin (FIL) で配布

Pocket Swap(ポケットスワップ)は、この2つのポイントを抑えるだけで、誰でも流動性マイニングの報酬としてトークンを獲得することが可能になります。それではここから、Pocket Swap(ポケットスワップ)の流動性マイニングの仕組みについて詳しく解説していきます！

【流動性マイニング】「Pool(プール)」の仕組み

Pocket Swap(ポケットスワップ)の流動性マイニングの仕組みは非常にシンプルで、「DSTO」と呼ばれる独自通貨を入手し、**DSTOとイーサリアム(ETH)を1:1でPool(プール)に預けることで、報酬を受け取ることができます。**

Pocket Swap(ポケットスワップ)の流動性マイニングにおいて、重要なポイントとなるのが「1:1」でDSTOとETHをプールに預けるということです！これはDEXにおける基本的な概念となります。また流動性を提供したユーザーは、プールに入れたトークンの数量に応じてもらえる報酬の枚数が異なるため、多くのDSTOとETHをプールに入れることで、それに応じた報酬を獲得することができます。

Uniswap(ユニスワップ)などのDEXにおける流動性マイニングの報酬は、ガバナンストークン(Uniswapの場合はUNIトークン)と呼ばれる独自の仮想通貨を採用して、流動性を提供したユーザーへガバナンストークンを報酬として与えます。**しかしPocket Swap(ポケットスワップ)では、流動性を提供することでファイルコイン(Filecoin / FIL)と呼ばれる、世界中の仮想通貨取引所で上場しているトークンを獲得することができます！**

「DSTO」とは

流動性マイニングを行うために必要な「DSTO」は、Pocket Swap(ポケットスワップ)で交換、入手することができます。Swap(スワップ)可能な仮想通貨は、以下の通りです。

- イーサリアム(ETH)
- バイナンストークン(BNB)
- テザー(USDT)

- **Pocket BTC (PBTC) ※ BTC wrap ERC20token**
- **Filecoin Classic (FILC) ※ FIL wrap ERC20token**

※ これらのトークンは順次、DSTP の Swap 対象通貨として取り扱いされる予定です。また、流動性マイニングの報酬は「**DSTO:ETH**」のトークンペアで流動性を提供したユーザーのみが対象となります。

流動性提供で「ファイルコイン (Filecoin/FIL)」が貰える



ここまで、Pocket Swap (ポケットスワップ) とプールにトークンを預けることで報酬が貰える「流動性マイニング」の詳細を解説してきました。そして流動性マイニングの報酬として貰えるファイルコイン (Filecoin/FIL) は、Pocket Swap (ポケットスワップ) が保有する FIL マイニングマシンによって、報酬として配布される FIL が発行されます。

そのため、Pocket Swap (ポケットスワップ) の流動性を高めることでファイルコイン (FIL) を獲得でき、既存のファイルコインエコシステムが、Pocket Swap (ポケットスワップ) において非常に重要な役割を担います。

ファイルコイン (Filecoin/FIL) とは？

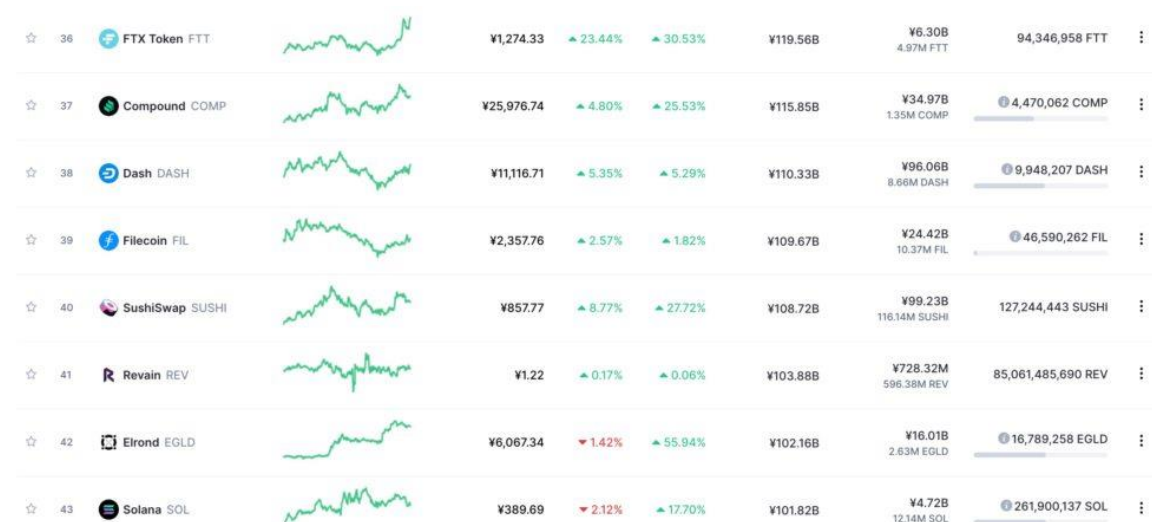
ファイルコイン (Filecoin/FIL) とは、現在のインターネット社会が抱えるデータ問題を解決するために生まれた、新時代の Web3.0 の中核をなす技術と言われる「IPFS (Interplanetary File System)」を基盤としたプロジェクトのネイティブトークンです。









現在のインターネットでは、YouTube などの無料動画コンテンツや SNS、e コマースなどのサービス普及によって、使用されるデータ量が急激に増加しています。しかし、これらのデータは、大手企業ですら大量の資金を投じないと、処理、保存できない状況となっているのです。

データ増加による問題

- ・コストの肥大化
- ・中央集権管理によるセキュリティ問題
- ・消費電力の増加

そんなデータ市場を「IPFS (Interplanetary File System)」を開発する Protocol Labs (プロトコル・ラボ) 社が、ファイルコイン (FIL) を活用したエコシステムを構築し、既存のデータセンター & ビッグデータに加え、個人のパソコンやスマホの空き容量を提供できる巨大なネットワークを構築し、ネットワーク参加者に与えられる報酬としてファイルコイン (FIL) が注目を集めています。



☆ 36	FTX Token FTT		¥1,274.33	▲ 23.44%	▲ 30.53%	¥119.56B	¥6.30B 4.97M FTT	94,346,958 FTT	⋮
☆ 37	Compound COMP		¥25,976.74	▲ 4.80%	▲ 25.53%	¥115.85B	¥34.97B 1.35M COMP	4,470,062 COMP	⋮
☆ 38	Dash DASH		¥11,116.71	▲ 5.35%	▲ 5.29%	¥110.33B	¥96.06B 8.66M DASH	9,948,207 DASH	⋮
☆ 39	Filecoin FIL		¥2,357.76	▲ 2.57%	▲ 1.82%	¥109.67B	¥24.42B 10.37M FIL	46,590,262 FIL	⋮
☆ 40	SushiSwap SUSHI		¥857.77	▲ 8.77%	▲ 27.72%	¥108.72B	¥99.23B 116.14M SUSHI	127,244,443 SUSHI	⋮
☆ 41	Revain REV		¥1.22	▲ 0.17%	▲ 0.06%	¥103.88B	¥728.32M 596.38M REV	85,061,485,690 REV	⋮
☆ 42	Elrond EGLD		¥6,067.34	▼ 1.42%	▲ 55.94%	¥102.16B	¥16.01B 2.63M EGLD	16,789,258 EGLD	⋮
☆ 43	Solana SOL		¥389.69	▼ 2.12%	▲ 17.70%	¥101.82B	¥4.72B 12.14M SOL	261,900,137 SOL	⋮

[CoinMarketCap](#) より画像引用

現在 (2021.1)、ファイルコイン (Filecoin/FIL) は、メインネットローンチに合わせて、Binance (バイナンス) や Huobi (フオビ)、Coinbase (コインベース) などの大手仮想通貨

貨取引所に上場を果たしたことで、時価総額ライキングで 39 位に位置しています。40 位には Pocket Swap (ポケットスワップ) と同じ、DEX (分散型取引所) を提供する SushiSwap (スシスワップ) のガバナンストークン「SUSHI」がランクインしているなど、その人気が伺えます。

どのぐらいのファイルコイン (FIL) が獲得できるのか？

Pocket Swap (ポケットスワップ) が提供する流動性マイニングで貰えるファイルコイン (FIL) の総枚数は、運営元の Protocol Labs (プロトコル・ラボ) 社が定めたマイニング報酬プログラムによって変動しますが、マイニングした全 FIL の「最大 20%」が流動性を提供したユーザーでシェアされます。

また Pocket Swap (ポケットスワップ) の流動性マイニングにおける FIL 報酬は、流動性を提供しているユーザーに対して「毎日」配布されるので、自分の資産状況に合わせて、流動性の提供を調節することができます。

ファイルコイン (FIL) マイニング試算

- $1 \text{ 日にマイニングされた FIL} \times 20\% = \text{流動性提供者への報酬}$

「DSTO:ETH」で流動性を提供したユーザーが対象。1 日にマイニングされた FIL 総枚数の 20% (最大) が流動性提供者に対してシェアされます。

- $\text{FIL}(20\%) \times 25\% = \text{翌日報酬}$

流動性提供者への配布分 (20%) のうち、25% が翌日に報酬として配布されます。残りの 75% は、180 日間で分配払いされます。

ファイルコイン (FIL) マイニング試算値の例

試算値として、1TiB (約 1TB) で 24 時間にマイニングできるファイルコインの枚数は、約 0.276FIL。1,000TB でマイニングされた場合は、「 $1,000\text{TB} \times 0.276\text{FIL} = 276\text{FIL}$ 」となります。

